

今年度2回目の「保育参加」も お蔭様をもちまして 昨日 無事に終了することが出来ました。お忙しい中、お仕事やご都合を調整し ご参加ご協力頂きましたこと、心より感謝申し上げます。年間の行事の中でも、普段の保育園生活を 保護者の皆様に最も理解して頂ける大切な機会だと思っております。そして子ども達にとっては 自分達が毎日過ごし 慣れ親しんでいるこの場にお家の人に来てくれる、一緒に過ごしてくれるというのは、何とも言えない誇らしい気持ちやワクワクする幸せな想いに満たされていることが伝わってきます。お寄せ頂いたアンケートを参考にさせて頂き、これからも より充実した行事として取り組んでいきたいと願っております。また、来週には 保護者会総会・クラス懇談会を予定しております。この1年の歩みを振り返り子ども達を真ん中にして、それぞれの成長を喜び 分かち合い度、皆様 ぜひ ご参加ください。

さて、当園の評議員であり、子ども達や保育園の働きを覚え いつも祈り支えてくださる 銚子教会の 米澤講治先生が、先日、奥様の くみ子先生と一緒に 保育園に立ち寄られました。「明後日のバレンタインデーに、園児達に！」と、温かな笑顔と共に 紙袋を差し出されました。中を見ると 子ども達が大喜びするに違いない一粒大の 可愛いチョコレートがいっぱい！その瞬間、皆の満面の笑顔が浮かび「ありがとうございます！」と 感謝して受け取りました。さあ、このたくさんのチョコレートで 子ども達と どんな風に楽しもうかと ワクワクしました。そして昨日の昼食後、紙袋を抱えて2階に上がると 私の姿を目にした何人かの子ども達が早速「えんちょうせんせい！ あっ！それ なあに？」「なに もってるの？」と 駆け寄って来ました。そこで私は「はい！これから チョコレート屋さんを 開店しま〜す！」とお知らせしました。その途端、子ども達から一斉に可愛い歓声上がり、飛び跳ねたり 抱き合ったり、大興奮です。お天気が良かったので、2階のテラスにテーブルを出し、クロスをかけた上にチョコレートを1個ずつ ゆっくりと丁寧に並べて 開店のための準備を始めました。待ちきれない子ども達は「あ〜っ！チョコだ！」「すご〜い！」「食べたいネ」お店の前で 押し合いへし合いしながら心もまなざしも チョコレートへ 一直線です。「まだですか？」「はやくおねがいしま〜す！」その声に ふと顔を上げると びっくり！お店の前には もうすでに 殆んど2階の子ども達が集まっていました。その顔は皆、チョコレートを受け取った時に浮かんだ 満面の笑顔でした。そこで、お客さん達に チョコを買うためのシステムを説明すると、一心に耳を傾けていました。『まず 色画用紙を切って作ったチケットを配るので それを持ってお店に来て引き換えること そのチケットは お店のお手伝いをしてくれる らっこ組の優菜ちゃんから 廊下でもらうこと そしてお店に来たら、チケットを渡して 店員（私）とジャンケンをして、勝ったら買えること ジャンケンは1人ずつ順番に行うので1列に並んで待つこと』それを聞き すかさず質問です。「負けちゃったら？」「出直してください」「でなおすって？」「一旦 帰ってから もう一度 並びってということですよ」「はい！わかりましたっ！」「じゃあ 開店しま〜す」掛け声と同時に 皆は一斉にチケット係の優菜ちゃんのもとへ、チケットを手にして我先にと並び始めました。お店は大賑わいです。てんやわんやであたふたしている私を見ていた いるか組が「手伝うよ」と、チケットの受け取り係・ジャンケン係・チョコ渡し係・負けちゃった人を励ます係に 分担。そこへ こあら組の 怜治君と悠斗君がチョコ係になりたいとやって来ました。「じゃ ここでね」とにこやかにお店に案内し係を任せて 再びてきぱきとお客さんと対応している店員さん達の手際の良さと優しさに「さすが年長組！」と本当に感心しました。ジャンケンは 大盛り上がり！ふと気づいたのですが、何回も負けてしまう子や らっこ組との対戦に ジャンケン係の薫君は周りにはわからない位 ほんの一瞬 遅く 相手より後に出して わざと負けてあげていたのです。そして「おめでと」と店員さん達は拍手喝采していました。小さなお客さん達は皆 大喜びしてチョコを握りしめていましたがそんな素敵な心遣い出来るようになった年長組に感激でした。乳児クラスは 今朝 いるか組の部屋にお店を開店し 買いに来てもらいました。その際の準備や役割分担は 昨日の経験を踏まえてスムーズに完了でした。本当に頼もしくなったいるか組です。りす組もねこ組も 嬉しそうにチケットを渡し 担任の先生達と一緒にジャンケンのまねっこを楽しみました。いるか組は 一人一人が出す小さな手のリズムに合わせて勝たせていました。「みんな勝ててよかったな〜」「グーしか出せないからさ、わざとチョコ出したんだ〜」など片付けをしながら笑い合っていた子ども達の眼差しの温かさに思わず涙が出そうになりました。卒園まで 残り約30日の いるか組一人一人の笑顔を見つめながら「あなた達なら大丈夫」と心からの太鼓判を押した私です。ささやかでしたが とても心温まるひと時を共に過ごせたことに感謝しています。「兄弟愛をもって互いに愛し合い…尊敬し合いなさい(ローマ12:10)」(石田 記)